

ゆあさ 議会だより

平成 28年5月 発行 No.62

発行：和歌山県湯浅町議会
編集：議会広報編集常任委員会
住所：〒643 - 0002

有田郡湯浅町大字青木 668 番地 1
TEL 0737 - 64 - 1118
FAX 0737 - 62 - 4450

URL : <http://www.town.yuasa.wakayama.jp/>
e-mail : gikai@town.yuasa.wakayama.jp

現在

昔

町制120周年

1年間今昔シリーズで
表紙を飾る予定です。

3月定例会

全員協議会・各常任委員会	2~7
各議員の賛否	7
一般質問(8人が登壇)	8~15
編集後記	16

駅前より北方向(昭和29年頃)

町制施行120周年記念事業 重伝建地区選定10周年記念事業等

平成28年度一般会計当初予算 56億9,093万円

平成28年第1回定例会を3月9日から25日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された平成28年度一般会計予算、各特別会計予算、平成27年度補正予算、条例改正など、提案された議案30件を原案通り可決しました。



(単位：万円)

項 目	金 額	主 な 歳 出 の 説 明
議 会 費	6,586	議員報酬、議会運営費など
総 務 費	7 億 1,064	ふるさと納税業務、庁舎警備業務、地籍調査事業、選挙費など
民 生 費	20 億 8,262	保育所費、障害者自立支援給付費、臨時福祉給付金、中学校卒業までの医療費の無料化など
衛 生 費	7 億 8,392	高齢者に対する肺炎球菌ワクチンなどの予防接種、各種ガン検診、太陽光発電設備設置補助金など
農林水産業費	1 億 7,958	鳥獣害防止対策事業、多面的機能支払交付金、田村漁港施設機能保全計画策定など
商 工 費	1 億 538	庁舎跡地への観光レクリエーション施設整備工事、商工会、観光協会、ギョギョッとお魚まつり実行委員会、シロウオまつり実行委員会など各種団体への補助金など
土 木 費	3 億 6,209	港団地2号棟耐震補強工事、定住促進奨励金、都市計画マスタープラン改定業務、町営住宅改修工事など
消 防 費	2 億 7,443	家具固定器具設置業務委託費、小型動力ポンプ付積載車・災害用備蓄用品購入、自主防災組織用備品など
教 育 費	5 億 1,105	重伝建地区補助金、公民館・図書館・体育施設の管理費、給食センター運営費、中学校フェンス改修工事など
災害復旧費	3,850	農業用施設・農地災害復旧工事
そ の 他	5 億 7,686	公債費、予備費
合 計	56 億 9,093	



宿泊体験等施設改修に 2,473万円

平成27年度一般会計補正予算(第5号)

(単位：万円)

項 目	補 正 額	補正後の額	説 明
議 会 費	12	7,369	人事院勧告による改定
総 務 費	4,809	7 億 9,087	通知カード・個人番号カード関連事務委託費など
民 生 費	7,054	21 億 8,110	臨時福祉給付金、人事院勧告による改定
衛 生 費	90	8 億 4,635	人事院勧告による改定
農林水産業費	5,835	2 億 3,680	栖原漁港施設機能保全計画策定業務など
商 工 費	5,379	2 億 5,870	観光情報センター整備工事など
土 木 費	1,451	3 億 2,242	町道湯浅1号線法面改良工事など
消 防 費	4	2 億 7,809	人事院勧告による改定
教 育 費	2,800	5 億 7,192	宿泊体験等施設改修工事、人事院勧告による改定など
災害復旧費	△ 3,350	1 億 9,730	実施による減
歳 出 合 計	2 億 4,084	63 億 459	

※補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。

全員協議会 (一般会計予算)

問 宿泊体験等施設改修をして行く中で、宿泊体験とはどのような形で考えているのか。

答 重伝建地区の空家を改修することにより、民泊というような形で中長期に滞在することができたり、観光客の方にも町屋に泊まっていたいただきたいと考えています。

問 栖原漁港施設機能保全計画策定業務とは。



栖原漁港

答 防潮堤等の海岸保全施設を除く漁港施設の機能保全(長寿命化)を行うために必要な調査と計画を策定するものです。

問 観光レクリエーション施設整備工事の内容は。

答 湯浅駅周辺等整備基本方針が今年度中に策定されますが、現時点では庁舎跡地に駐車場と芝生公園を設置する方向で進めています。

重伝建地区内の空家





問 家具固定器具設置について、以前も取り組みをしたと思うが。

答 65歳以上もしくは障がい者の方の住む世帯を対象に平成24・25年の2年間で約400世帯に設置しましたが、さらなる普及率向上を目指し、実施するものです。

問 町制施行120周年事業について町民にはまだまだ周知できていないのでは。また湯浅まつりを7月に実施するのであれば町民への周知を徹底してほしい。

答 広報・ホームページでの周知のほか、町民との話し合いの場においても周知をしていきます。

問 下水処理整備計画策定業務委託とは。

答 都市計画区域内における汚水処理方法等を地域の実情に応じた形で定めていくものです。

問 新しくなった紀州3人っ子施策保育料補助金の中身は。

答 県施策による第三子以降の保育料無償化です。保育所の0・3才であった補助金の対象が拡大し、幼稚園、児童発達センター等が加わり、年齢制限がなくなりました。

問 ふるさと納税者にリピーターになってもらえる対策は考えているのか。

答 状況をみながら考えていきます。

問 田保育所に設置する非常用飲料水変換供給機械とは。

答 大規模災害時に備え、雨水槽または池からの水をろ過して飲料水に変える機械を避難施設

でもある田保育所に設置します。

総務文教常任委員会

主な条例制定・議案

○公文書の開示に関する条例の一部改正

○個人情報保護条例の一部改正

○手数料徴収条例の一部改正

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

○和歌山県と湯浅町の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関に関する事務の委託について

右の5件は行政不服審査法の改正に伴うものです。

○職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正
地方公務員法が改正され、職員の人事評価制度を導入するにあたり、分限処分の一つとしての降格について定めるものです。

○人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

○職員の勤務時間及び休日、休暇に関する条例の一部改正
右の2件は地方公務員法等の改正に伴うものです。

○職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告等による改正です。



○特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正

消防団員の処遇を改善するため、年報酬の増額を行うものです。

○消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員等に係る損害補償の基準を定めるものです。

○条例の一部改正

軽自動車及びバイクなどの地方税法の改正に伴うものです。

○文化財保護条例の一部改正

歴史的風致維持向上計画の策定に伴い、文化財の定義を法律の規定に合わせることや文化財保護審議会の設置に関する事項についての整備を行うものです。

○環境保全基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止

○高齢者福祉振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止

前の2件は役割を終えた両基金を廃止するものです。

平成28年度特別会計予算

駐車場特別会計は別表のとおり。

問 消防団員の処遇改善については消防団員だけでなく、今後

は他の特別職の報酬も考えてはどうか。

答 今後検討していきます。

問 税の猶予について、災害等の条件によっては1年間猶予で

きるとのことだが、1年後に次の年度も含め2年分払わないといけないのか。

答 1年後に猶予（分割納付）できる条件がなければ、そのようになります。

問 文化財保護審査会の委員構成は。

答 文化財の所有者、郷土史の研究者など文化財に関する専門的知識を有する方で構成しています。



消防出初式（坂部池）

平成28年度 特別会計予算・水道事業予算

（単位：万円）

項 目	金 額	説 明
駐車場事業	1 億 5,968	用地使用料、管理運営費など
国民健康保険事業	23 億 93	保険給付費、後期高齢者支援金など
後期高齢者医療	3 億 901	後期高齢者医療広域連合納付金など
同和対策住宅新築資金等	3 億 332	前年度繰上充用金など
介護保険事業	13 億 3,997	保険給付費、地域支援事業費など
農業集落排水事業	4,305	管理運営に伴う費用など
水道事業 収益的収支	2 億 9,608	老朽管布設替工事、水源地開拓費など
資本的収支	1 億 104	
歳 出 合 計	4 8 億 5, 3 0 8	



福祉産業建設常任委員会

主な条例制定・議案

○国民健康保険税の条例の一部改正

介護納付金分の保険税率を引き下げ、県内で突出して高い医療分の資産割の税率等の改正です。

○学童保育所の設置及び管理に関する条例における指定管理者の指定の件

指定管理者となる団体は学童保育しいのみクラブとやまだっ子クラブで、指定の期間は平成28年4月1日より3年間です。

○調停について

平成25年8月に発生した検診事務に係る事故について、調停を成立させるためのものです。

平成28年度特別会計予算
平成28年度水道事業会計

前頁の別表のとおり。



田浄化センター

問 国保特別会計の移送費とは。

答 移送費は適切な診療を受け移動することが著しく困難で緊急であったと認める場合に支給するものです。

要望 農業集落排水事業について

では加入促進を図って健全運営に努めていってほしい。

問 同和対策住宅新築資金等特別会計に関し、国県に対して償還推進のための施策を充実する

要望をさらに行うべきでは。

答 引き続き要望していきます。

問 水道事業に関して、水不足

を補う対策として水源開発の調査は進んでいるのか。

答 現在調査している水源が使用できるかも含め、水質検査等を行っています。また水源地より久米崎浄水場へ送ることも視野に入れ検討しています。

人権推進特別委員会

【議題】

○同和対策事業に係る総括について

○障害を理由とする差別を解消するための町職員対応要領（案）について

○町民人権学習会最終報告
○職員人権研修会について

問 障がい者を理由とする差別を

解消するための職員対応要領については障がい者団体からの意見を聞いてはどうか。

答 障がい者団体からの意見を聞いて進めていきます。

問 今年度の人権学習会のテーマである児童虐待防止についての取り組みはしてるのか。

答 子育て・家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」が取り組んでいます。

要望 未だに同和問題に関する差別があることにより湯浅町においても、条例の改定が必要ではないかということも各担当で解っていてほしい。

まちづくり・
防災特別委員会

【議題】

- 旧庁舎解体について
- 駅周辺等整備基本方針の経過について
- 山田山トリアルについて
- 都市計画道路の見直しについて
- ため池ハザードマップについて
- 防災関連の報告

問 駅周辺等整備計画では、湯浅駅前への大型バスの通行及び駐車場の確保について十分配慮されたい。

答 考慮して進めていきます。

問 ため池ハザードマップの周知にあたり、町民に不安や誤解を与えないよう配慮されたい。

答 議員からの意見を踏まえるとともに、地元で十分説明をした後に配布していきます。



12のテントブースで特産品を販売し、大会を盛上げた地元の皆さん

報告 2月28日山田山で近畿トリアル選手権が行われました。近畿各県からの選手101名による障害物をオートバイで乗り越える競技に約500人の観客が訪れました。また、10月23日に近畿選手権、11月13日には全国規模の大会も予定されています。

3月定例会

審議結果	議案名等	石橋千歌子	小松英夫	松本光成	石本一也	横矢政明	山家敏宏	山田真里	由良祥治	山本年哲	松本典久
可	公文書の開示に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	手数料徴収条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	職員の勤務時間及び休日、休暇に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	税条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	文化財保護条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	環境保全基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	高齢者福祉振興基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	和歌山県と湯浅町の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関に関する事務の委託について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	学童保育所の指定管理者の指定の件(しいのみクラブ、やまだっ子クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	調停について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	町道の変更を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成27年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度各特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 松本典久議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、－は退席



①女性消防団員の活躍で地域防災力の向上を ②公職選挙法の改正～18歳選挙権について～ ③義務教育から主権者教育を ④「高齢者投票行為」の対応について

石橋 千歌子 議員



質問①

南海トラフ巨大地震が予測される今日。地域の安全を守る女性消防団員の活躍は、地域防災力の向上をめざし多彩な役割を期待。女性消防団員加入推進が必要と考えます。

答弁(町長)

議員ご指摘の通り消防団員が減少している中で東日本大震災以降、全国的に女性消防団員は増加しているとのことですが。

加入推進の取り組みは広報やホームページの掲載です。加入者が増えていけば、女性分団の創設も考えております。

質問②

選挙権年齢が十八歳以上に引き下げられ夏の参議院選挙から始まりますが、選挙に対する意識の醸成が心配です。若者への広報、啓発の取り組み状況は。

答弁(選管事務局長)

県立耐久高校は選挙出前講座で

選挙に関する授業や模擬投票を実施し、政治や選挙の関心を高め社会参画への意識向上を図っております。施設のポスターの掲示や高校へのリーフレットの配布。広報への制度周知も掲載の予定です。

質問③

選挙権が十八歳になったからといって政治への関心が高まるとは限らず、かえって無責任な投票をするとの懸念もあり不安に思う声も多いです。

初めて経験する若者に、社会と地域の問題を、自分の問題と捉え、主体的に関われるように義務教育からの「主権者教育」の実施が必要と考えますがいかがでしょうか。

答弁(教育次長)

選挙権が十八歳以上に引き下げられ、義務教育から「主権者教育」の充実が求められています。「シチズンシップ教育」は教育委員会としても非常に重要と考え「自立」

「共生」「社会参加」の視点を大切にした教育を推進。国・県からの資料や新聞を活用し、社会に参画できる「市民」をめざして「主権者教育」の充実を図っていきます。

質問④

高齢者が緊張のあまり誰に投票するのか思い出せず白票を投じてしまつトラブルがあります。貴重な一票を無駄にしないために、メモや法定ビラを持ち込む行為のご所見をお伺いいたします。

答弁(選管事務局長)

選挙人が、自ら忘れないように書いたメモや法定ビラを持ち込むことができます。

ただし、それを持って選挙運動まがいの行為を行うなど投票所の秩序を妨害する行為等にご注意をお願いします。

再質問

紙面の都合で割愛します。





①人権施策について ②まちづくりについて

石本 一也 議員

質問①-1

町人権条例の改定について、12月議会にも質問させてもらったが、今の実態をみると不十分なので、早急に条例の改正をしてほしいと質問し、町長は検討して改正していくとの前向きな答弁があった。しかしながら、3月まで何らかの営みが見えてこない。県内では同和地区かどうか教えてほしいなどの差別事件はもちろんのこと、国内ではインターネット大手販売が全国部落調査の本を販売しようとするなどいろんな差別事件が起こっている。それに対して国などが規制しようとしているが、なかなかそれに対する手立てがない。湯浅町においてそういうことが起こったときに、条例で規制や何らかの罰則を設けてはどうか。

答弁(町長)

この件については町として検討する組織をつくって取り組んでいきます。

要望

検討したことについて、次の議会に報告してほしい。

質問①-2

平成28年4月より施行される障がい者差別解消法施行に対して、これから障がい者本人が様々な障壁を乗り越えていくためにも、自立促進支援はもとより地域の特性や障害者を取り巻く環境は各自治体においても様々であると考えられるが、湯浅町として今後どのような取り組みをされるのか。

答弁(健康福祉課長)

平成28年4月からの障がい者差別解消法の施行に伴い、当町としても障がい者を含む福祉団体、医療保健関係、教育関係、行政などで構成する障がい者差別解消支援地域協議会の設立を進めていきたいと考えています。

答弁(総務課長)

当町でも障がい者団体の方の意

見を参考に「障がい理由とする差別を解消するための湯浅町職員対応要領」を策定し、4月からの施行を予定している。またこの要領を踏まえて、職員への研修等を行う予定です。

要望

早急に障がい者差別解消支援地域協議会を立ち上げてやってほしい。

質問②

これからの湯浅町のまちづくりには、観光の振興が中心的な施策の一つであると思う。湯浅町を訪れる観光客が増えているとはいえ、賑わいを取り戻すほどの効果をあげていない。観光に関する業務を「観光課」あるいは「室」「係」など設置していつてはどうか。

答弁(町長)

湯浅町の活性化には観光の振興が欠かせない施策である。前向きに検討します。





9月の町長選挙について

山本 年哲 議員

質問

「安心安全のまちづくり」という目標を掲げ、上山町長が誕生してから8年が経過しようとしています。

この間、防災ラジオの全戸配布や町内全ての小中学校の耐震化、庁舎、田保育所の高台移転といった数々の事業を行ってこられました。また防災対策以外にも中学卒業までの子ども医療費の無償化や駅前連絡所の開設といった住民が住みよい町とするための施策に加え、湯浅町版総合戦略を策定し湯浅に活気を取り戻すための取り組みなど数々の実績を積み上げてこられました。その結果たくさんの方々の住民の方々や各種団体から、これからの上山町長にぜひとも頑張ってください、と出馬要請が続々と届いていると聞いています。

引き続き湯浅町をより良いまち

としていくため上山町長に町政を担っていただきたいと思ひますので決意の程をお聞かせいただきたいと思ひます。

答弁(町長)

山本議員からこれまでの取り組みについてお話をいただいたところでありますが、これらについては議会や住民の方々の協力により実現することができたと思ひます。

しかしながら、まだまだ多くの問題が山積しており、また、たくさんの方々からの、今の良いまちづくりの流れを続けてほしいという声や多くの団体からの出馬要請を受け私自身、熟考に熟考を重ねた結果、引き続き皆様とともに力をあわせて取り組んでまいりたいとの考えに至りました。

そして町としてこれから早急に取り組むべきことから申し上げ、私の決意表明に代えたいと思ひます。

まず、南海トラフ大地震等大規模災害に備えた避難路や施設等の整備や老朽化が進む保育所の整備、湯浅駅周辺を中心に整備を行い、生活に必要な機能を集積させ、さらに住みやすいまちづくりを進めること、日本遺産認定など湯浅の歴史的な魅力を活かした観光振興、地域活性化など、まだまだやるべきことはたくさんありますが、町の発展に向け、全力で取り組むことをお誓いしたいと思ひます。



1. 平成28年度予算について町長の考え方を問う

- ①人件費(賃金)、適正職員数(非常勤職員数)は
- ②農業集落排水事業特別会計への繰出金について
- ③有田衛生施設事務組合の負債のうち、湯浅町の負担額は

2. 旧庁舎の解体方法について

横矢 政明 議員



質問1-①

正職員数とその人件費は。湯浅町の適正職員数は。非常勤職員数とその賃金は。

答弁(総務課長)

正職員数は135名で約9億1,300万円、定員管理計画での職員数は134名で適正な範囲であり、非常勤職員数は小中学校や各施設に配置されている職員などを含めて約100名で約1億3,700万円です。

要望

正職員と非常勤職員が同じ位必要なら正職員を増やす考えをすべきです。



質問1-②

予算で一般会計から885万4千円繰り出しているが、累計金額はいくらになるのか。このままではやっていけないのではないか。

答弁(総務課長)

繰出金総額は1億9,853万6千円です。

答弁(町長)

繰出金については、できるだけ加入者を増やし、赤字を減らすさまざまな対策を検討していきます。

要望

利用される区民の皆さんが使つて良かったと安心して喜んで利用できるようにしていただきたい。

質問1-③

1市3町で新ごみ処理施設建設計画が進んでいます。有衛ごみ処理施設を閉めると国への返還金はいくらですか。

答弁(総務課長)

約12億円必要です。

答弁(町長)

有衛問題は湯浅町にとっても大きな問題になってくると思いますが。来年から基金を積んでいきたいと思います。

要望

莫大な資金が必要となるのが分かっているのだから1日も早く準備をするように望みます。

質問2

地面から50cm下を取るが、地下室や基礎部分を残すと説明があったが、なぜ全部取らないのか。

答弁(総務課長)

有田ビルはボーリングによる地下水を確認してから地下室を取るか判断をします。

答弁(町長)

取ることによって地盤が悪くなり、付近に影響を及ぼす場合は取りません。



①防災対策について ②高齢者の運転免許自主返納推進について ③町内交通事故多発箇所について

小松 英夫 議員



質問①

東日本大震災発生から5年が経ちました。その年は町主催の防災訓練に多くの町民が参加しましたが、最近は参加者も減少しています。

現在、町内の47地区中19地区に自主防災組織がありますが、高齢者が多い地区や、毎年区長が代わる地区は大変難しいと思います。そこで、自主防災組織が互いの情報交換などで協力できる連合会を作ってはどうか。



自主防災組織用備品

答弁（総務課長）

町内自主防災組織の連合会については、28年度以降での立ち上げを検討します。

質問②

高齢者ドライバーの家族から早く免許証を返納してほしいという悩みをよく聞くが、返納しやすくなるよう、例えば福祉タクシー券1年分とか役場への送迎をするなど考えてみてはどうか。



高齢運転者マーク

答弁（総務課長）

自主返納すると買い物などに支障をきたす方も出てくるかと思われ、関係機関と協議しながら対策を検討します。

質問③

町内の交通安全対策はどのような講じているか。



交差点

答弁（総務課長）

カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設は、住民からの要望を受けて整備や修繕を行っているのが現状ですが、必要な対策はできる限り事前に講じていきたいと考えています。



①水道水源地開拓について ②沿岸部地域の津波避難



山家 敏宏 議員

質問①-1

湯浅町は慢性的な水不足の問題があり、水不足の際には有田川町から水を購入している状況であります。単価ですが、町民の方には25立米使用した時の平均は、立米当り113.51円で料金を頂いております。(全て税抜き)

有田川町からは137.18円で購入しています。137.18円で仕入れたものを、113.51円で販売している状況です。湯浅町の水道料金を上げる必要があるという意味ではなく、早急に水源開発を行う必要があるという意味です。

平成25年3月に、副町長をリーダーとしたプロジェクトチームを結成しておりますが、今までの経過と成果をおしえていただきたい。

答弁(水道事務所長)

今まで8回の会議を行ってきました。平成27年度に広川町旭町周辺で、第5水源の調査を行い利用できる方向で進めています。

質問①-2

第5水源のスケジュールは。そ

の水源で町全体を賄えるのか。

答弁(副町長)

平成31年度からの供用開始予定です。また町全体を補えるものではないので、引き続き調査が必要だと考えています。

質問①-3

調査が必要という事ですが、プロジェクトチームの最終目標は。

答弁(副町長)

湯浅町全体が賄える水量確保です。

質問①-4

水源地確保のための具体的な調査方法は。

答弁(副町長)

有田市からの水等も含めて、調査していきたい。

質問①-5

私は有田市のことではなく、まずは湯浅町、広川町で探すべきだと考えています。再度お聞きします。井戸の調査を今後も引き続き行っていくことでよろしいですか。

答弁(副町長)

はい。引き続き行っていくします。

質問②

沿岸部の方が安心して暮らせるよう又津波被害を少しでも減らすように、避難タワー、栖原坂へ抜ける橋が必要だと考えています。

避難タワーがあれば、気持的に安心出来ると考えています。避難弱者の方の共助に対しても有効だと考えます。

早急に、沿岸部の方が安心して暮らせるように、避難タワー建設が急務だと考えますが、いかがですか。

答弁(総務課長)

橋、避難タワーの建設は、住民の方々に安心感を与えるとは思いますが、今後も慎重に検討していきたいと考えています。



串本地区津波避難タワー



①歴史的風致維持向上計画について ②景観・環境整備について



松本 光成 議員

質問①

全国でもわずかの市町村しか認定されていない歴史的風致維持向上計画が、国から認定されると聞き、大変喜ばしいことだと思っています。

私は、湯浅町の歴史的な風情・情緒・佇まいといったものが今後どのように進化・形成されていくのか、この計画の推進によるところが非常に大きいと思っております。この計画をどのように今後進めていく予定なのか。

答弁（まちづくり企画課長）

概ね10年の期間で、伝建地区や熊野古道などを中心としたまちなかの道路整備や、大仙堀をはじめとする環境整備、また街路灯や案内板の整備、歴史的建造物の保存修理活用などのハード事業や祭礼など伝統行事の継承を支援するなどのソフト事業の両面から進めていきます。

質問②ー1

平成27年度で、橋の長寿命化工事により熊野古道が通る北栄橋の工事が最近完成しました。山田川にかかる橋梁工事の今後の計画は。

答弁（建設課長）

平成28年度宮後橋を実施し、上流に向け毎年一橋実施の予定です。

質問②ー2

ガードレールや遊歩道については、趣のあるものにしてはどうかと質問をしましたが、この計画に基づき風情と趣のある橋の工事を実施していくべきでないか。

答弁（建設課長）

この計画に基づく各種事業では、関係各課が連携し、趣のある景観・環境整備を実施していきます。

質問②ー3

北栄橋から、飛越橋の間は熊野古道が通る橋。新北栄橋と県道が通る北橋は伝建地区の玄関口であることから、伝統的な建築物の装

飾で橋や神社、寺院の階段等の柱の上に設けられている飾りの「擬宝珠」を各橋に設置してはどうか。

答弁（町長）

番外橋も趣向凝らして実施しています。また、全体計画の中でやっていきたいと思っています。



ぎぼし（番外橋）

質問②ー4

この計画の事業実施により、今後益々観光客が増えることが予想され、「おもてなし」の心が大事。先ず職員が向上心を持ち取り組むべきでないか。

答弁（町長）

観光担当だけでなく、「おもてなし」に関する研修なども活用しながら全ての職員の意識を向上させていきます。



①平成30年度からの国保制度の見直し ②介護要支援サービスの総合事業への移行 ③消費者保護事業について

山田 真里 議員



質問①

一昨年の質問で、国保の都道府県単位化への動きに注意を促していましたが、その後の経過と今後の作業を明らかにしてください。

答弁（住民環境課長）

国保は30年度から、県が財政運営の主体となり中心的な役割を担います。

町は、県が決める市町村ごとの「事業費納付金」を県に納付するとともに、県が決める市町村ごとの「標準保険料率」を参考に保険料率を決定し、賦課・徴収し、被保険者証の発行や保険事業を実施します。

県はすでに、32年度に資産割の廃止、将来的に保険税の統一を目標とする方針を持っていますが、4月には国のガイドラインにもとづき、県が市町村を含む協議会を設立し協議を進める予定です。湯浅町としては、被保険者の負担増や町の負担増にならないよう努めます。

質問②

昨年の介護保険の改定で、要支援の認定者への訪問介護・通所介護サービスが、保険給付から外され、町が実施する新しい総合事業へ移行されることになりました。

関係者は、安易な移行は、介護予防が必要な方を、質、量ともに必要なサービスから遠ざけると懸念しています。単価の低いサービスへの置き換えによる減収で、事業者の撤退も心配されます。

私は、専門職による必要な介護サービスが利用できてこそ、真に、要支援状態からの自立、または、重症化の予防につながると考えます。湯浅町の実情をふまえた対応を求めます。

むしろ、健康づくりの充実にこそ力をいれるべきです。

答弁（健康福祉課長）

29年度に新しい総合事業に移行しますが、内容は現行制度を基準とする予定です。

介護予防体操の充実、強化等が

最善の対策との認識のもと、引き続き筋肉トレーニングや体操教室を推進していきます。

質問③

振り込め詐欺などが身近な問題です。電力小売の自由化で電話勧誘の増加が予想され、対策強化が必要と考えます。

答弁（総務課長）

28年度は新たに、高齢者が居住する世帯への自動通話録音機の無償貸与を検討しています。

さらに29年度から、消費相談窓口を毎週1回に増やすよう県及び近隣市町と協議中です。



消費者相談窓口（駅前多目的広場）





議長杯グランドゴルフ大会を開催

2月5日(金)、町民グランドで第15回議長杯グランドゴルフ大会を開催しました。
24名の方々がホールインワンを達成、議会から6名の議員が参加しました。

優勝	おお たに ひで お	大谷 英夫さん
準優勝	お がわ みつ お	小川 光雄さん
第3位	や がわ じゅん こ	八川 順子さん



議会の傍聴にお越しく下さい

次回の6月定例会は
6月7日(火)～
開催予定です。



熊本地震お見舞い

平成28年4月14日以降、熊本県を中心に相次ぐ地震の被害により亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

湯浅町議会

編集後記

新緑が若葉にはえ、澄み切った青空のもと鯉のぼりが元気いっぱい泳ぐ姿が勇ましい季節となりました。

皆さんは、元気に過ごされていますか？

さて、新しい庁舎へ移り、はや1年が過ぎようとしています。

今議会での一般質問は、8人の議員が登壇しました。議会を傍聴される町民の方々も回を重ねることに増えており、傍聴席が満杯状態となる中、当局に対し議員達もこそとばかり張り切って質問し、活発な議論が展開されました。

また、「議会だより」も見やすくするため尚一層努力しますので、楽しい記事やご意見・ご要望等あれば事務局までご連絡下さい。今後ともご理解とご協力よろしくお願いいたします。

(松本 光成)

議会広報

編集常任委員会

委員長	山本 年哲
副委員長	山田 真里
委員	石橋 千歌子
委員	松本 光成
委員	石本 一也

